

1 単元名 多角的に分析して書こう

2 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(2)ア
- (2) 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ
- (3) 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めている。(2)ア)	①「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を納得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ②「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。

4 単元について

(1)教材観

本教材は広告を素材にし、それらを客観的に分析し、批評に必要なことは何かを知り、それを言葉にしていくことの道筋を理解できるように設定されている。第1学年では、資料を引用してレポートを書き、根拠を示して説明する活動を行った。第2学年では、適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な意見文を書く活動を行った。それらを踏まえて、本教材では、的確な分析と構成力、表現の工夫を生かした批評文を書いていく。

(2)生徒観

レディネステストの結果から、立場を明確にして自分の意見を書ける生徒は多く、資料を引用して意見文を書ける生徒が半数いるが、根拠を明確にして批評文を書ける生徒が少ないことがわかる。このことから、本単元では、批評文を書く活動を通して、対象に対する的確な分析と構成力、表現を工夫する力を付けさせたい。

(3)指導観

説得力のある批評文を書くには、題材にあった観点を設定し、それを基に的確に分析する過程が非常に重要である。対象となる事柄に適した観点到気付けるようにするとともに、その観点を通して見えてくるものについて掘り下げて分析できるように指導していきたい。

5 単元の指導計画（6時間扱い）

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1	<p>学習の流れと目標をつかみ、批評する対象を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、批評文のイメージを明確にする。 ・広告を見て思ったこと、考えたことを出し合う。 ・「分析の観点」に気付き、「問いを立てる」ことをイメージする。 	○			<p>知①：「分析の観点」を見つけているかを見取り、つまづいている生徒には、「批評文」の要素を可視化しながら理解できるようキーワードを示して理解できるようにする。【観察】</p> <p>○ 態①：複数の対象を比較し、より多くのことに気付けたものを選ぶよう促す。【ワークシート】</p>
	2	<p>広告を分析する観点を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書にある広告から、「分析の観点」を決める。 ・「分析の観点」から「問い」を決め、それに対する自分の考えを書く。 ・批評の対象を決める。 	◎			<p>知①：「分析の観点」を設定し、「問い」を立て、「自分の考え」を書くことができる。【ワークシート】</p> <p>○ 態①：「分析の観点」や「問い」はいつでも周りとは相談できるように促す。</p>
2	3 本時	<p>目標：問いを立てて分析する。</p> <p>徹底分析！～広告に込められたメッセージを明らかにしよう～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の確認をし、本時の学習内容を確認する。 2 前時で選んだ広告をグループで確認する。 3 問いを立てる練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・P130の広告で問いを立てる。 4 選んだ広告について観点を設定し、問いを立て、それに対する自分の考えを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で相談をする。 5 振り返りと次回の内容を確認する。 	○		○	<p>態①：交流の中で、批評する対象を変更してもいいことを伝え、本当に取り組みたいものを選ぶようにする。【ワークシート】</p> <p>知①：観点を設定できているか見取り、提示した観点の具体例を参考にできるように促す。</p> <p>知①：観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。【ワークシート】</p>
3	4	<p>批評文の構成を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に引用できる資料を探す。 ・批評文の構成を考える。 ・構成表を確認し、文章を書く。 		○	◎	<p>思①：資料を効果的に引用できているか見取り、批評文で一番述べたいことについての資料を探すよう促す。</p> <p>思②：自分の意見を支える根拠となる資料を印刷するなどして、構成を考えている。【ワークシート】</p>

	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">構成を意識しながら、批評文を完成させよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・構成に沿って批評文を書く。 	◎	◎	<p>知①：具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。【ワークシート】</p> <p>思①：自分の意見の根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。【ワークシート】</p> <p>○ 態①：粘り強く表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりしているかを見取り、文章構成や文章表現について助言する。【ワークシート・観察】</p>
4	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">批評文を読み合おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・批評文をグループで読み合い、コメントを書く。 ・学習を振り返る 		◎	<p>態①：批評に必要な考え方や表現等を理解することができた。【ノート】</p>